

2.5)膀胱留置カテーテルの抜去率 (回復期リハビリテーション病棟)

2024年度の膀胱留置カテーテル抜去率は61.6%で、2023年度の30.2%と比較し向上しました。

回復期リハビリテーション病棟ではカテーテル留置が活動性や日常生活動作の向上の妨げとなる場合があるため、早期離脱に向けた評価と支援をおこなっています。

急性期治療後の状態や排尿機能障害を踏まえながら多職種で排尿状況を評価し、トイレでの排泄自立を目標とした援助を実施しています。

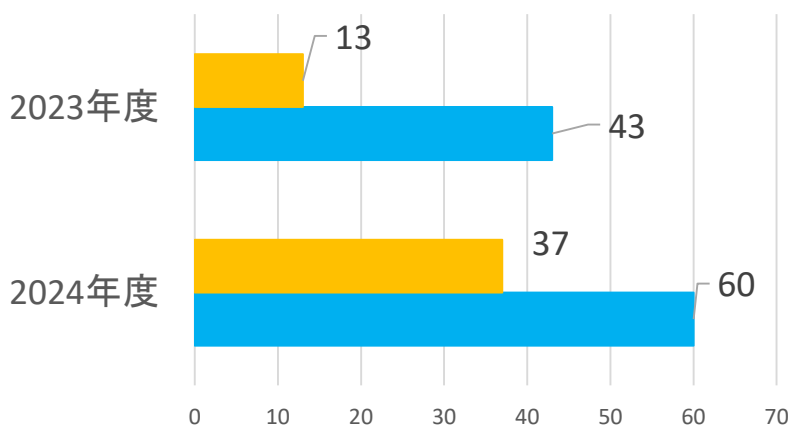
今後も感染予防と生活機能向上の両立を目指し、適切なカテーテル管理と早期離脱支援に取り組んでいきます。

膀胱留置カテーテル抜去率

2023年度 43名中 13名 (30.2%)

2024年度 60名中 37名 (61.6%)

膀胱留置カテーテル抜去率



	2024年度	2023年度
■ 抜去患者(人)	37	13
■ カテーテル留置患者(人)	60	43

■ 抜去患者(人) ■ カテーテル留置患者(人)

